

津駅東口通り 歩道空間の拡張に向け 社会実験を行います

6車線から4車線に車道減少

令和3年7/12(月)~7/20(火)

道路空間の再編による歩道空間の拡張により
賑わいや滞留機能の強化を検討しています。

このたび、下記の内容で社会実験を行いますので、
ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

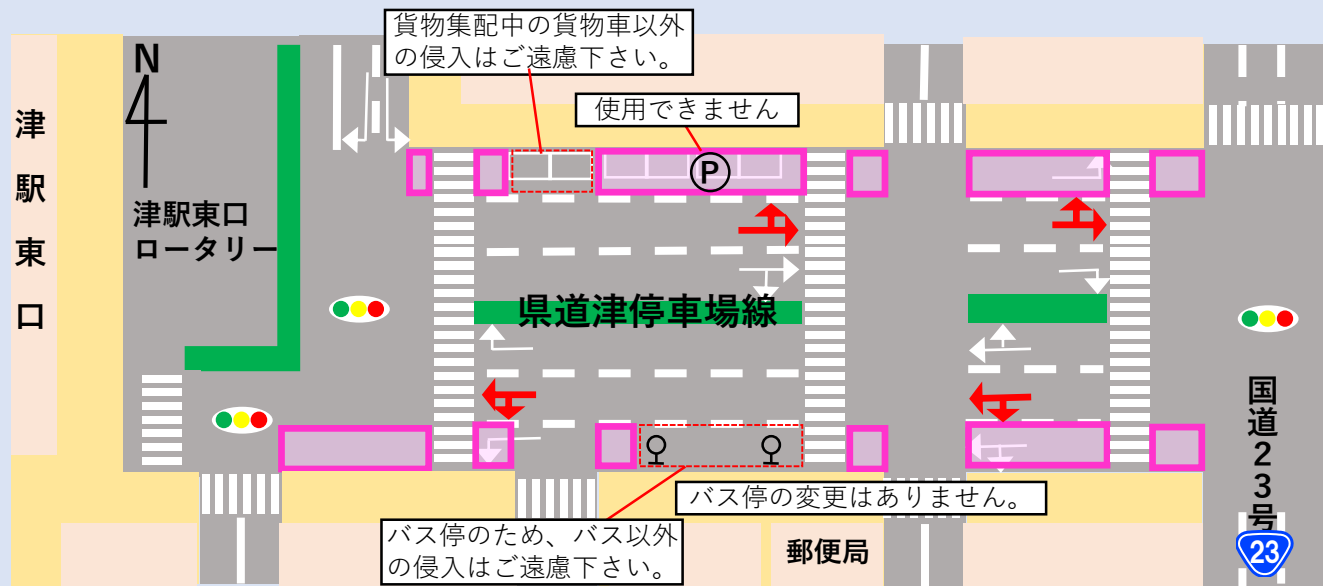
検討の詳細な内容は裏面をごらんください



○車線減少による交通への影響を検証します

○拡張をイメージした歩道空間を実際に見てもらい、意見を募集します

図中の **□** の箇所を交通規制 終日通行できません。



※天候等により社会実験の開始日・終了日が変更となる場合があります。
期間中の交通状況によっては規制形態の変更や中止を行う場合があります。

歩道空間をもっと快適に、
楽しく使うアイデアを募集



ツイッターで

#津駅歩道空間

ハッシュタグをつけて投稿して
下さい。(受付期間7/31まで)



イメージ

道路空間の利活用について
アンケートにご協力ください

右のQRコードを
スマートフォン
等で読み取り、
ご回答ください。



(受付期間7/12~7/31)

お問い合わせ先

三重県県土整備部道路企画課

☎ 059-224-2739

みえ県都の顔となり、地域の活力を引き出し、災害にも強い空間へと再生

三重県・津市は、津駅周辺において、地域を豊かにする歩行者中心の道路空間の構築や民間と連携した新たな交通結節点づくりを推進するため、関係団体と連携して、駅周辺の活性化や防災等さまざまな視点から、駅周辺の道路空間の活用に関する方向性をとりまとめました。

方向性の1つの柱である「歩行者の賑わいや滞留機能の強化」の検討を進めるため、社会実験を実施します。

津駅周辺空間の基本的な方向性

【令和3(2021)年3月公表】

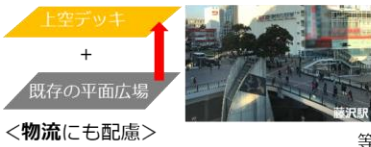
<現在の駅周辺空間が形成されて約半世紀、新たなステージへ>

地方都市が主役のポストコロナ時代において

みえ県都の顔となり、**地域の活力**を引き出し、**災害にも強い**空間へと再生

(1) 公共交通の利便性の強化
浸水等の災害時の対応の強化

(検討例)
駅前広場の立体的活用による
交通防災ターミナル

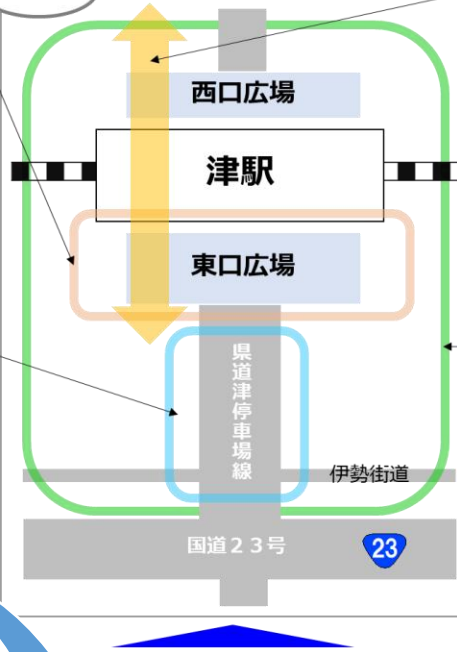


(2) 歩行者の賑わいや滞留機能の強化

(検討例)
道路空間を再編、新たな価値を創る
人中心の駅前ストリート



ハード



(3) 東西連携の強化

(検討例)
東西を快適に移動し、交流を高める
東西自由通路



(4) 駅周辺の回遊性の強化

(検討例)
来街者が楽しく、安全に巡る
サイン・グリーン・ライト



ソフト 官民協働によるマネジメント ユニバーサルデザイン デジタル化 周辺地域との連携

新たな技術や仕組みを積極的に取り込みながら、**継続的な進化**

歩行者の賑わいや滞留機能の強化 に向けて社会実験を実施します。

[現在] 6車線



社会実験では、道路空間の再編イメージを再現するため、**□**の箇所を規制し、車線減少に伴う自動車交通への影響の検証等を行います。

[再編イメージ] 4車線・両側歩道拡張



道路空間を再編、新たな価値を創る人中心の駅前ストリート